

シンポジウム

観光の新たなデザイン —— 未来を創る地域の魅力

●プログラム（12：30開場）

13：00～14：00

基調講演『アフター・コロナの観光

—— 観光を「希望の原理」とするために』

遠藤 英樹（立命館大学 教授・観光学術学会 会長）

14：00～15：30

パネルディスカッション『山陰から発信する地域の魅力』

植田 菜月（松江 ヤクモイズム / YAKUMOISM 代表）

遠藤 達也（奥出雲町観光協会 事務局 次長）

小幡 美香（安来 さぎの湯温泉旅館「竹葉」

どじょうすくい女将）

坂根 めぐみ（出雲 老舗和菓子屋「坂根屋」 取締役）

中尾 寛子（島根県観光振興課美肌誘客係 係長）

15：45～16：25

研究発表

『島根半島・宍道湖中海ジオパークの紹介と活用』

入月 俊明（総合理工学部 教授）

『「観光で稼ぐ」から「地域全体で稼ぐ」への転換』

飯野 公央（法文学部 教授）

16：30～17：30

学生による研究発表 <ポスター発表>

- ・ グリーンスローモビリティによる地域課題のソリューション
- ・ シェアリングエコノミーが観光産業に与える影響
- ・ 地質学から考える地域に根差した島根のジオパーク活動
- ・ 島根観光百科事典：日本遺産「出雲國たたら風土記」（観光実践）
- ・ 関係人口を含めた農地保全の可能性
- ・ 山村留学の受け入れ態勢に関する現状と課題
- ・ 養蜂を活用したグリーンツーリズムの成立条件
- ・ 隠岐ジオパークにおけるガイドと観光マップの役割
- ・ 繋ぐ・広げる・伝える和菓子の魅力
- ・ 文化財の歴史と保存——美保関と隠岐島前神楽

など

2023年 12月16日(土)

島根大学 教養講義室棟 2号館

コロナ禍も一応の収束をみせ、これまでの日常に戻りつつある。また観光客も徐々に戻り、かつての活況を取り戻そうとしている。この状況の中、山陰地域の観光地は新たな、そしてユニークな企画に次々に取り組んでいる。それは単に誘客や経済効果だけを狙ったものでなく、これからの地方都市や地域社会の未来を考えるヒントとなり得る。本シンポジウムでは、山陰観光の潜在的な魅力や価値を再発見し、そこから地域の未来を展望する。



島根大学

主催：島根大学 法文学部 山陰研究センター

共催：島根大学 国際観光教育推進センター

参加無料

参加には事前登録をお願いします ▶



<https://forms.gle/pRXU3F8Y4mmACcAc8>